

令和5年2月7日（火）

今日はSDGsの17の目標のうちの15の「陸の豊かさを守ろう」

とは、どういうことなのかを子どもたちにお話をしました。

～森の健康を守る。たくさんの動物を大切にする～

地球に住んでいる生物にとって森林は欠かせないものとなっています。しかし近年、人が森林を壊すことで、すでに絶滅をしてしまった生物や絶滅の危機に瀕している生物が多く

います。陸の豊かさを守ることは、私たち人間が生き続けるためにも必要です。



15 番目の目標は、動植物や虫たちを滅ぼさないということ。

地球に住んでいるのは人間だけではありません。

人間よりずっと多くの動植物や虫たちが、大昔から命のバトンをつないできました。

でも今、地球の多くの場所で人間が森林を切り開いてきたことで、動植物や虫のすみかが減っています。また、人間が食べる野菜や、牛や豚やニワトリの食べ物を作るための農業で、農薬がたくさん使われることも、動植物や虫を苦しめたり、減らしたりしています。

「自分の知らない虫や動物がいなくなっても、関係ないよ」と思う人もいるかもしれません。

でも、ある虫がいなくなることで、花粉が運ばれなくなって絶滅する植物だってあるかもしれません。また、その虫や植物を食べていた鳥や動物が絶滅するかもしれないのです。

世界中の生き物は、人間の知らないところでつながり合っています。

それに何より、人間だけが生き残って、ほかの動植物は絶滅してもいいというのは、おかしい考えです。

森や、動植物・虫たちを、滅らさないための行動が必要です。